

7 本時の目標

○ 影絵遊びの活動を通して、図形を構成する力を伸ばす。【課題解決力】

8 準備物 色板（教師用・児童用） 拡大影絵 学習プリント

9 展開

<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; width: 40px; margin: 0 auto;">発問</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; width: 40px; margin: 0 auto;">活動</div>	つかむ・見通す	<p>○前の時間の絵と違う所はなんですか。</p> <p>○色板2枚でどんな形ができるか作ってみましょう。</p> <p>○今日は、色板を使って影絵の形を作りましょう。</p>	解決する	<p>○風景の絵の中に影絵があります。何の形ですか。</p> <p>○おとかの形を、色板を使って作りましょう。</p> <p>○きとくの形を、色板を使って作りましょう。</p>	まとめる ふりかえる	<p>○学習のまとめをし、本時のふり返しをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日の学習で分かったことは何ですか。 ・課題は達成できましたか。 <p>○けとこを、色板を使って作りましょう。</p> <p>○本時の学習をまとめ、ふり返る。</p>
	<p>○色板2枚を使って、4種類以上の形を作る。</p> <p>○同じ形でも、前時と違って色板の並べ方を変えても、同じ影絵の形ができることをとらえる。</p> <p>○学習課題を提示する。</p>	<p>○影絵が、山や家やヨットや魚であることを気づかせる。</p> <p>○おとかの形を色板を並べて、影絵と同じ形を作る。その際に、何枚使ったのかを求めたり、どのような形を組み合わせて作ったのかを、交流したりする。</p>				

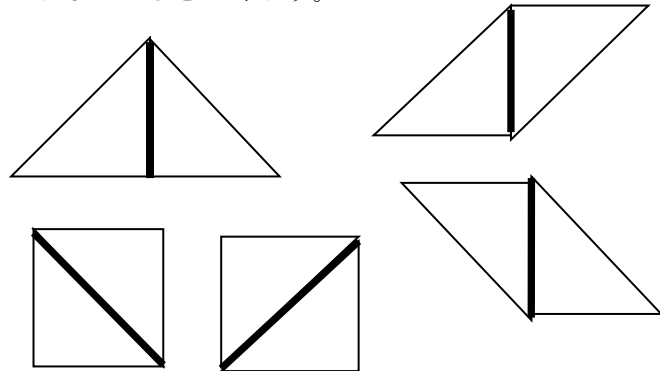
10/5 かたちづくり



かだい

さんかくのいろいたを ならべて、かたちをつくろう。

○いろいたを2まいならべている
いろなかたちをつくろう。



まとめ

さんかくをつかって、おおきいさんかくやしかくをつくる ことができる。

2まい

6まい

8まい

4まい

9まい

10まい

○支援と
■評価

○既習事項では、色板を並べて、教科書と全く同じ形を作ったが、本時は、影絵になっているため、並べ方が違ってても、色板の枚数が同じなら、同じ影絵に形ができることに気づくようにする。

○教科書96ページと本時の97ページは同じ1枚の絵になっているけれども、本時の絵には、方眼のますがあること気づかせ、方眼の1ますが色板2枚分にあたることに気づかせる。

○もともになる三角自体は、挿絵として隠れていることから、何枚できているかについて戸惑う児童がいるので、再度方眼の1ますが色板2枚であることを確かめる。

○**お**と**く**については、並べ方は1通りしかないけれども、**か**と**き**は4通り、**け**は8通り、**こ**は4通りの並べ方がある。並べ方は、何通りもあることに気づかせるために三角を2つ合わせると四角になることを確実に理解させる。

○本時の学習で分かったことを発表させる。

○次の学習内容を知らせることで、学習への意欲を高める。

■何枚の色板を使って、どのように組み合わせさせてできているかを考えることができる。(考)